

事業番号	354
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	社会教育委員会運営事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	社会教育係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		1 「こまなび」を推進する				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	1	大	1	中	1
	根拠法令・個別計画	社会教育法第15条、小牧市社会教育委員設置条例、小牧市社会教育審議会規則									
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民への社会教育施策について、効果的な振興が図られるよう生涯学習推進会議で審議し、円滑な施策の運営を図る。									
	内容 (手段)	<p>学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者12人の委員による年2～3回の生涯学習推進会議を開催。 また委員は県主催の総会及び研修会への参加。 職員は年2～3回の生涯学習推進会議の運営事務。県主催の総会及び研修会の連絡調整事務。</p> <p>審議事項:(1)成人教育に関すること (2)青少年教育に関すること (3)家庭教育に関すること (4)社会教育関係団体の振興に関すること (5)社会教育施設の設置運営に関すること (6)地方文化振興に関すること (7)その他社会教育振興に関すること</p> <p>【直接経費の内訳】 委員報酬(254,100円)、費用弁償等(69,525円)、負担金(40,200円)</p> <p>◎25年度実施内容 24年度と同様に実施する。 委員報酬(586,000円)、費用弁償等(232,000円)、負担金(93,000円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	273	239	363	911	
		正職員	従事者数	人	0.07	0.07	0.07	0.07
			人件費	千円	373	373	373	373
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.02	0.00	0.00
			人件費	千円	0	45	0	0
		費用合計	千円	646	657	736	1,284	
	対前年比	%		101.7	112.0	174.4		
財源	一般財源	千円	646	657	736	1,284		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25	
	生涯学習推進会議開催	回	目標		3	3	3	3
			実績		3	3	6	
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25	
生涯学習推進会議開催	回	目標		3	3	3	3	
		実績		3	3	6		
社会教育委員	人	目標		12	12	12		
		実績		12	12	12		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	生涯学習推進会議において社会教育委員より幅広い意見を聴取した。また、「第3次小牧市生涯学習推進計画」を審議するために会議を6回開催した。	
		事業実施における課題	社会教育委員の選考にあたっては、より広範な分野から委員を委嘱することが必要である。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	学校教育及び社会教育の関係者、学校教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者、市民から社会教育・生涯学習に関する意見聴取ができなくなり、施策に反映することができなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	広範な分野から委員を委嘱するため公募委員を2名委嘱し、第3次小牧市生涯学習推進計画の進捗管理を検討する。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
判定理由		生涯学習推進会議等において社会教育委員より様々な意見を聴取することができ、施策に反映していくことができる。		
26年度以降の改善案		広範な分野から委員を委嘱するとともに、社会教育、生涯学習に関する様々な意見を聴取し、施策に反映していく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。